

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	児童生徒学習支援関係費	所管課	教育指導課
まちづくりテーマ	重点施策名		
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	すべての子どもの学びを支える学校づくり		

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
文部科学省は、不登校児童生徒に対する支援策として、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)において、校内教育支援センターの設置を推進している。教育を受ける権利を保障し、市民及びすべての児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培うことができるよう、学校教育におけるさまざまな学びの機会を確保する必要がある。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
教育を受ける権利を保障し、市民及びすべての児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培うことができるよう、学校教育におけるさまざまな学びの機会を確保する必要がある。 本市の不登校児童生徒は増加傾向であり、不登校の要因もさまざまである中、子ども達が安心して教育を受けられるよう、居場所づくりや教育環境の整備を進めていく必要があるため、学習支援員による放課後や長期休業中の補習指導を行うとともに、不登校児童生徒等に対する別室指導や宿泊行事への帯同を実施する。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
補習指導や不登校児童生徒に対する別室指導等を行うことにより、児童生徒の基礎的・基本的な学力の定着が図られ、居場所づくりや教育環境の整備が進み、多様な学びの場が確保できる。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
補習指導や不登校児童生徒に対する別室指導等を行うことにより、基本目標4に示す『子どもたちの「生きる力」が育まれる教育環境の整備』が図られた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
互いに認め合い自立した児童生徒の育成	2.90	2.95	3.05
子どもたちが意欲的に学ぶことができる教育環境が整備されていると感じますか？	2.91	2.99	2.88
把握した市民等のニーズとその対応			
子ども達が安心して教育を受けられるよう、居場所づくりや教育環境の整備を進め、学習支援員による放課後や長期休業中の補習指導及び不登校児童生徒に対する別室指導等を行う。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとその理由	
まちづくりコンセプト	□サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
教育を受ける権利を保障し、市民及びすべての児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培うことができるよう、学校教育におけるさまざまな学びの機会を確保する必要がある。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	質の高い教育をみんなに
②	人や国の不平等をなくそう
③	住み続けられるまちづくりを

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	特別支援教育整備事業費	所管課	教育指導課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		すべての子どもの学びを支える学校づくり	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
平成28年に障害者差別解消法が施行され、学校現場でも合理的配慮の提供が求められるようになった。各自治体は、子どもの自立と社会参加を見据え、教育的ニーズに最も的確に応える指導が提供できるよう多様な学びの場の整備が求められている。一方、令和4年の障がい者権利委員会における勧告の趣旨等を踏まえ、国では障がいの有無にかかわらず可能な限り同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、連続性のある多様な学びの場の整備を着実に進めることを示している。本事業を進めることにより、居住学区の学校に特別支援学級がなく学区外の学校に通っている児童生徒は、通学距離が短縮され負担が軽減されるほか、自身の居住地区で学び、育つことができるようになる。また、既存特別支援学級の過大規模化を解消することができる。さらに、全ての小中学校において特別支援学級を含めた連続性のある多様な学びの場が整備され、障がいの有無にかかわらず、全ての児童生徒の教育的ニーズに応じた支援が充実し、インクルーシブ教育を推進することができる。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
・市立小学校:65.7%(23校/35校) ・市立中学校:84.2%(16校/19校) ・小中全体での設置率:72.2%。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
特別支援学級に通学する全ての児童生徒が、他の児童生徒同様、居住学区の学校に在籍し、個々のニーズに応じた教育的支援を受け、学校生活を送ることができるようになる。また、全ての小中学校において特別支援学級も含めた連続性のある多様な学びの場の充実・整備を図り、障がいの有無にかかわらず全ての児童生徒が共に学び共に育つ支援教育が充実する。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
特別支援学級の全校設置を進めるとともに、増設及び既存教室の維持整備を行うことで、基本目標4に示す『子どもたちの「生きる力」が育まれる教育環境の整備』が図られた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
互いに認め合い自立した児童生徒の育成	2.90	2.95	3.05
安心して子育てができる環境づくり	3.17	3.27	3.20
把握した市民等のニーズとその対応			
特別な教育的支援が必要な児童生徒が自分の居住する地域の学校で学ぶことができる環境を整備するため、通学区域ごとの児童生徒数の推移や校舎の教室確保の検証を行い、特別支援学級全校設置に向けた教育環境の整備を進める。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	□サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
障がいのある無しに関わらず、全ての児童生徒が、個々のニーズに応じた支援を受け、教育活動を行えるよう支援教育を推進する事業であるため。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	質の高い教育をみんなに
②	人や国の不平等をなくそう
③	住み続けられるまちづくりを

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	学校給食材料費	所管課	学校給食課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		すべての子どもの学びを支える学校づくり	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
食材価格の動向に注視しながら、安定的な給食提供を実施する。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
給食実施率(予定どおり提供できた割合):100%			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
食材価格の動向に注視しながら、安定的な給食提供を実施する。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
食材価格の動向に注視しながら、安定的な給食提供を実施することにより、「すべての子どもの学びを支える学校づくり」が図られた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子どもたちが意欲的に学ぶことができる教育環境が整備されていると感じますか？	2.91	2.99	2.88
把握した市民等のニーズとその対応			
食材価格の動向に注視しながら、安定的な給食提供を行った。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	□サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
全ての児童に安定的な給食提供を実施するため。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	質の高い教育をみんなに
②	
③	

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	中学校給食施設整備費	所管課	学校給食課
まちづくりテーマ	重点施策名		
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	すべての子どもの学びを支える学校づくり		

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
すべての中学生に対し、安全安心な給食を安定的に提供する			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
喫食率が上昇傾向にあり(R4年度26.5%、R5年度29.6%、R6年度36.4%、R7年度41.8%)、委託事業者の供給体制がひっ迫してきていることから、中学校給食の安定供給を行うため、本事業を継続する。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
給食センターを供用開始し、すべての中学生に対し、安全安心な給食を安定的に提供する			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
市民の健康寿命の延伸、持続可能な地域農業への貢献、防災拠点としての機能発揮			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子どもたちが意欲的に学ぶことができる教育環境が整備されていると感じますか？	2.91	2.99	2.88
把握した市民等のニーズとその対応			
藤沢市中学校給食検討委員会を通じて、課題整理、給食アンケート等を行い、保護者のニーズ(給食を全員が食べるようになったら食べさせたい、選択制である現在は注文の予約締切や払込の方法が煩雑、等)、生徒の課題(選択制の現在の給食において、給食を通じ学んだことは特にないという回答が一番多かった等)を把握し、給食を全員制に切り替えるための本事業の必要性を確認したため、継続して対応していく。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	□サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
全ての生徒に安定的な給食提供を実施するため。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	質の高い教育をみんなに
②	
③	